

地域リハビリテーション支援センターだより

(神奈川県リハビリテーション支援センター)

地域リハ支援センター

2021年 2月発行 NO-82

オンライン リハビリテーション専門相談のお知らせ

地域リハビリテーション支援センターでは、『**地域の支援者の支援をする**』二次支援機関として、リハビリテーションに関する総合相談・情報提供・技術支援などを行っています。相談内容に応じて専門職が同行訪問し、現場で課題解決のためのアセスメントを行ってきました。

しかし、昨年から新型コロナウイルスの感染拡大により、施設やご自宅へ積極的に訪問することがむずかしい状況になっています。支援者様からも『**相談したいが、外部者の施設内の立ち入りが制限されていて、相談できずに困っている**』などの声があがっていることから、オンライン相談を開始しました。

お困りの
支援者様!!

オンライン専門相談を利用してみませんか？

当センターでは、オンライン（Zoom）を利用し、相談・情報提供を行っております（無料）。

準備は簡単!! カメラ付パソコンで **URL をクリックするだけ** です。

（スマホ・タブレットをご利用の場合は『Zoom』アプリのダウンロードが必要になります）

◎ お申し込みから当日までの流れ

お申し込み	① 電話 ② Fax（ホームページより印刷できます） ③ ホームページ
日時の決定	お申し込み確認後、電話にて日時の相談を行います。
当日	開始時間までにこちらからお送りした URL をクリックしてお待ちください。

オンライン専門相談の様子

施設より『**食事の時に姿勢が崩れて自力摂取ができない**』と相談がありました。

車いす座位の評価後、シーティング（座面や背張りなど）を見直し、相互に確認しながら調整を行いました。



背張りの調整中...

まずはお気軽に
ご相談ください!



【相談内容】 運動プログラム、生活環境整備、ADL 動作支援、福祉用具、ポジショニング（車いす・ベッド）、コミュニケーション支援など。

☎ : **046-249-2602** （月～金曜日 9:00～17:00）

〒243-0121 神奈川県厚木市七沢 516 (Fax: 046-249-2601)

社会福祉法人 神奈川県総合リハビリテーション事業団

地域リハビリテーション支援センター 担当: 小川、小泉、清水

楽しく
機能UP!!

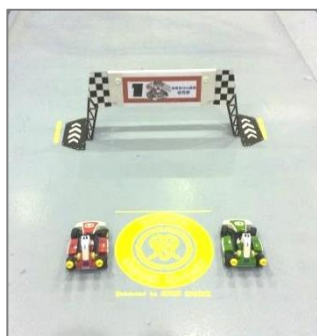
パラスポーツ体験シミュレーター!!



神奈川県リハビリテーション病院では、
楽しく持続的にリハビリ訓練が行えるような機器の開発をしています!

今回ご紹介
するのは...

キャラクターカートを動かす最新ゲームと連動させ、
車椅子をこぐと実際のカートが走る仕組みのシミュレーションゲームです!



カートに搭載されたカメラ映像とAR（拡張現実）を組み合わせたものをモニターに表示しています。
発声する声の大きさとゲームのアイテムも使用できるようにしています（レース結果に影響あり!）。

現在、体験者のほとんどが、中学生以下の利用者です。
最新のゲームを体験できることや自分の動作（駆動や発声）でゲームをコントロールできることから、普段より集中してリハビリに取り組んでいます♪



たのしいね♪

この機器は、持続的に車椅子をこがなければカートが動かないため、リズムカルな車椅子操作など、
筋力・体力増進以外にも車椅子操作等の練習の要素も含まれています。

対応している車椅子は、日常用の車椅子の他、スポーツ専用の車椅子（バスケット車・テニス車・車椅子
マラソンで使用するレーサーなど）でも操作が可能となっています。

パラスポーツマガジン YouTube 版では、他の体験機器も紹介していますので、ぜひご覧下さい!

【 パラスポーツマガジン YouTube 検索 】

<https://www.youtube.com/c/PARASPORTSMAGAZINE/featured> (辻村 和見)

専門相談 累計実績

(令和2年4~令和3年1)

	脳性麻痺	神経・筋疾患	脳血管障害	脊髄障害	骨関節疾患	後天性脳損傷	知的障害	内部疾患	視覚障害	その他(不明)	合計
県央	2	21(9)	5(1)	1		4(2)	25(8)		3	3	64(20)
湘南東部		3	1	3(2)			2(1)				9(3)
湘南西部		10(1)	4(1)			4(2)			2	5	25(4)
県西		3	1	12(4)	1						17(4)
横須賀・三浦		3(1)		1	2				2	1	9(1)
合計	2	40(11)	11(2)	17(6)	3	8(4)	27(9)	0	7	9	124(32)

	本人・家族	行政機関	医療機関	訪問看護	介護居宅	介護地域包括	介護事業所	高齢者施設	障害相談支援	障害者施設	教育機関	福祉機器業者	その他	合計
県央	5	2	1	5(1)	16(11)	1		1	5	27(8)	1			64(20)
湘南東部	1	1		2						2(1)				9(3)
湘南西部	4			6(2)	4	1		4	3(2)	1			2	25(4)
県西	2			7	2			1	5(4)					17(4)
横須賀・三浦	5	1	1		2(1)									9(1)
合計	17	4	2	20(3)	24(12)	2	0	6	13(6)	30(9)	1	3(2)	2	124(32)

()の数字は訪問の件数

緊急事態宣言中ではありますが、オンラインでの相談などでご相談をいただければと思います。(小川 淳)

リハ専門相談 事例紹介

脊髄性筋萎縮症

病状が進行して腕が上がらなくなり、食事の自力摂取が困難となった。

『食事はなんとしても自分で食べたい！』とご本人様の強い要望があり、ケアマネージャーから当センターに相談がありました。

福祉用具（ポータブルスプリングバランサー）が適応となるか評価目的で訪問となりました。



介入**前**の食事の様子

右手でお箸を持つことは出来ますが腕が上がらないため、口元までのリーチがむずかしく、身体を前に倒しながら何とか自力で食べていました。しかし、それも最近になってむずかしくなってしまったとのことで、介助摂取を余儀なくされていました。

主な対象疾患

高位脊髄損傷
筋ジストロフィー
腕神経叢麻痺
多発性筋炎
筋萎縮性硬化症
ギランバレー症候群



ポータブルスプリングバランサー（PSB）

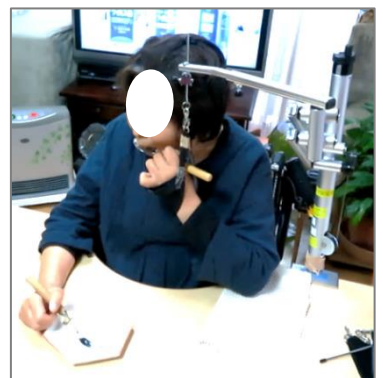
スプリングの張力を利用することにより、腕の重さを限りなくゼロに近づけ、わずかな力でも自身の腕を動かすことのできる装具。

張力を調整することにより、使用者の症状に応じて自由に増減することが出来る。

介入**後**の食事の様子

上肢機能の評価をすると、右手よりも左手の方が肘の曲げ伸ばしの筋力が残存していることがわかりました。PSBで腕の重さを除くことで、より肘の運動がスムーズに行えることが確認できました（実用性あり！）。

その後、ご本人様に腕の動かし方のコツを伝えながら、テーブルの高さの調整・PSBの位置や張力を調整していきました。口元までのリーチもスムーズに行うことができ、訪問リハでも継続して練習をしていただくことになりました。



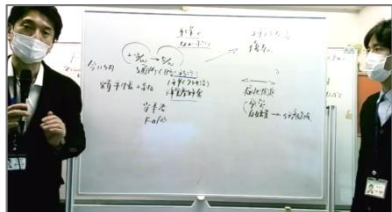
利き手交換になってしまいましたが、大好きなケーキを『**自分で食べる**』うれしそうな顔をみる事が出来てホッとしています。

自力での動作がむずかしくなっても、お助け道具（福祉用具）によって自立度が上がる可能性があります。『**何かいい方法があるかな？**』と思ったら、ぜひ一度ご相談ください！

（清水 里美）

高次脳機能障害セミナー 就労支援編 開催しました！

- ・高次脳機能障害者が就労を目指すための
アセスメントと支援 瀧澤 学
- ・神奈リハ病院 職能科の取り組み
小林 國明



当センター総合相談室の瀧澤、職能科の小林による講義の後、オンライン事例検討会を実施し、参加者と双方向での一問一答を行いつつアセスメントを深め、プランニングにつなげていくプロセスを学んでいただきました。

オンライン研修では参加型が少ない中で、ライブ感覚を体感しながら参加することが出来た、と感想をいただきました。本来ならば、グループワーク等を通じて地域内での顔が見える関係を築いていただく趣旨の研修でした。

コロナ禍でも知恵を絞りつつ、皆様に有意義な研修が提供できますよう、今後も研鑽を継続していきたいと考えています。 (瀧澤 学)

神奈川県高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会の開催



神奈川県高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会は、神奈川県における高次脳機能障害支援の実施状況について、学識経験者や職域団体、専門機関の方に報告させていただき、それぞれの見地よりご助言をいただく貴重な機会となっています。例年会議室で開催していますが、今年度はCOVID-19に伴う緊急事態宣言が発令されている影響により、令和3年2月3日オンライン会議（ZOOM）にて行いました。

神奈川県と神奈川リハ、3つの政令市および家族会（NPO 法人脳外傷友の会ナナ）、さらに部会となる支援ネットワーク連絡会より、事業の実施状況や会議の内容等についての報告がされ、意見交換が行われました。COVID-19の影響により当事者の生活や日中活動等が脅かされる中、地域の通所施設や相談業務にあたる方は交代勤務を行い、利用者には感染対策を講じたうえでの分散利用を促したり、在宅での課題や自主製作素材、情報誌の提供がされたりしている現状を共有しました。あるいは、普及啓発や支援者育成等に必要とされる研修では、参加人数を制限したうえで会場開催するほか、オンライン研修での実施状況について確認を行いました。家族会からは、最近実施された会員向けの現況調査の結果について報告があり、高齢化している家族会員の老障介護の現状や親亡き後の課題が切迫している状況について意見交換がなされました。地域の障害福祉や介護保険サービス等を利用していない、つながっていない方も多く、地域内に潜在化しつつある高次脳機能障害がある方とその家族の存在をどのように把握するのか、今後地域と連携しつつ検討するべき課題であると再認しました。

COVID-19の影響で入院中の外泊によって家族が障害状況を把握することが難しくなったり、福祉サービス等の調整等が不十分のまま退院して地域生活を送ることを余儀なくされたりする方もおいでと推察されます。必要な方に支援が届くように相談体制等を整備するのみならず、地域社会で包括的、継続的に支援が出来る体制が整うように今後も検討を継続していきます。 (瀧澤 学)



編集後記 3月の雑学：(3/3) 耳の日、(3/4) ミシンの日、(3/6) スポーツ新聞の日 (3/8) ミツバチの日、(3/10) ミントの日 (3/11) パンダ発見の日、(3/12) サイフの日、(3/13) サンドイッチデー、(3/14) ホワイトデー (3/15) オリーブの日 (3/17) 漫画週刊誌の日、(3/18) 点字ブロックの日、(3/20) 上野動物園開園記念日 (3/21) ランドセルの日・世界詩歌記念日、(3/24) マネキン記念日、(3/25) さんぽにゴーの日、(3/28) ワームムーン・等々、知らない記念日が数多くあります。雑学を身につけたい方、調べてみてはいかがでしょうか。

〒243-0121 神奈川県厚木市七沢 516
神奈川県総合リハビリテーション事業団
地域リハビリテーション支援センター
☎ 046-249-2602
FAX046-249-2601